

意見交換会実施報告書（地区コミ単位）

【5班】

地区コミ	滄浪地区コミュニティ協議会	参加人員	17人
開催日時	平成26年 7月18日（金） 19:00 ～ 20:15		
開催場所	滄浪地区コミュニティセンター		
出席議員 （担当）	議員名	出欠	担当
	川畑 善照	○	
	杉菌 道朗	○	司会進行
	永山 伸一	○	議会活動報告
	議員名	出欠	担当
	持原 秀行	○	記録・報告書作成
	帯田 裕達	○	

意見交換の内容

（凡例 ◆地区の意見 ◇議員の意見）

1 墓通り道路の舗装と側溝の整備について

《意見交換の概要》

- ◆ 花田商店より墓地に向かう道路は、舗装が破損し凸凹状態である。高齢者や足の不自由な方が足を取られて怪我をする可能性があり、車の通行にも支障が生じているため改修をお願いしたい。さらに、ここの道路には側溝がないため、雨天時には墓地に雨水や砂等が流入し、墓参りもできず、また墓石にも悪影響を与えている。現在は応急措置として土嚢等で措置しているが、側溝を入れていただきたい。
- ◇ 意見交換会のテーマが示された段階で、主管課において対象箇所を調査した。要望された路線は市道久見崎・中央線で、幅員約5mの集落道路。延長は100m程で、墓地が隣接し車両交通や墓参りをされる高齢者も多い道路であり、墓地側には側溝が無く、県道43号線からの路面水が墓地内へ流れ込み非常に困っているとの状況であることから、対策としては、側溝の新設と舗装の改修が必要であり、今年度中に側溝と舗装の工事を実施する方向で検討するとのことであった。

《主な要望等》

- ◆ この墓地は、地域の高齢者の墓参りが多く、手押し車での市道通行は非常に危険である。ぜひとも改良していただきたい。
- ◇ 県道との境界確認など工事施工においては、地元と協議しながらしっかりと対処していきたい。

2 墓地周辺の高木の伐採について

《意見交換の概要》

- ◆ 墓地については、管理組合において年2回地域総出で低木の伐採や除草作業等をしているが、墓地内にある高木は管理が難しく、大雨、台風等により枝が折れて墓石を破損させている。また、高い所に枝が折れて引っ掛かっている状態があり、いつ落下するのか危険な状況にある。被害者が出ないうちに対応を検討していただきたい。
- ◇ 共同墓地の管理は、管理者である墓地管理組合で適正に管理していただくほかない。要望のあった高木の伐採や、折れた枝の撤去等は、管理者において判断していただくことになる。また、共同墓地の管理に係る補助金等の制度はないので、伐採される経費等については管理組合の負担となる。私たちも現地確認をしたが、伐採専門業者でなければ対応は難しいと思うので、一度伐採業者等に相談していただきたい。

《主な要望等》

- ◆ 寄田と久見崎は、原発の本当の地元である。原発の地元として何も落としてくれない。箱モノを作ってくれということではない。生活しやすい環境づくりをしていただきたい。地元は高齢化の状況にあり、原発の地元として交付金の一部なりとも配慮していただきたい。
- ◇ 電源立地交付金等の使途等については調査研究してみたい。

3 市道にかかる雑木の除去について

《意見交換の概要》

- ◆ 高齢者の住宅や、廃屋になっている屋敷周りの樹木が繁茂して通行の障害になっており、景観・環境上も悪いため、道路愛護作業時に住民総出で伐採や枝払いをしているが、高い所は手が届かず危険であり、市の方で対応できないのか検討をお願いしたい。
- ◇ 高齢者の住家や廃屋の樹木等が市道へ張り出して通行に支障がある箇所を確認した。樹木は個人の財産であるので、本来は個人で適正管理すべきであると思うが、廃屋で管理する方がいない等の事情があることから、道路通行に支障となる部分の伐採については、道路管理者において実施する方向で検討する。なお、伐採の了解及び伐採材の置き場の確保については地元で協力をお願いをしたい。
- ◇ 市道の維持管理については、常日頃から市の主管部署と連絡を取り合うようにしていただきたい。

4 その他

《要望等》

- ◆ コミセンから小学校へ行く道路が掘り返され凸凹になっている。この道路と学校正門に向かい左折して行く道路があるが、段差が生じており危険である。先の安定ヨウ素剤事前配布の説明会の帰りに2人が転んで捻挫した。現地を調査して改善していただきたい。
- 担当主管課の建設維持課へ連絡を取り、現地を調査し対応するよう依頼した。
- ◆ 少子高齢化対策についてはどのような取り組みをしているのか。
- 中学校卒業までの医療費の無料化、定住対策としての定住補助金、新幹線の通勤費補助など取り組んでおり、特に医療費無料化制度については子育て世代から好評を得ている。この制度はその後、県内の各自治体へと波及し取り入れる市町村が増えている。
- ◆ 学童保育が3年生までで終わりとなり、児童クラブの定数も少なく困っている。働かなくては生活ができない。子どもが4年生になれば離職も考えなければならず、非常に困っている。安心して子育てのできる環境づくりをお願いしたい。
- 昨年、平佐西校区においては児童クラブの新設を行ったところ、待機児童の解消にも繋がりが良い方向に向かった。児童クラブについては、行政側の関わりと地域での要望などが必要である。地域の声を地区コミとしても上げていただくことが大事である。
- ◆ 県道43号線は避難道路でもあるが、川内川沿いは堤防が低いため大雨時には通行が非常に危険である。堤防のかさ上げ等対策をお願いしたい。
- このことは、先の6月議会において森満議員が、川内原子力発電所周辺の道路整備についてとして一般質問をされ、市当局としても十分認識している。県に対し対策方をしっかりと要望していくとの回答を得ている。
- ◆ 久見崎巡回道の整備方針はどうなっているのか？
- 久見崎巡回線については、本年測量設計を実施し平成27年度から年次的に工事着手する計画である。
- ◆ 久見崎公園のハマボウが葎で見えなくなっているので対策をお願いしたい。
- この件については、現在県の担当課と協議し対策を検討中である。